

# 34年の歳月を経て幹線林道『川井・住田線』が全線開通!!

～地域間の交流促進や産業振興に大きな期待～

道路建設課

宮古地方振興局土木部

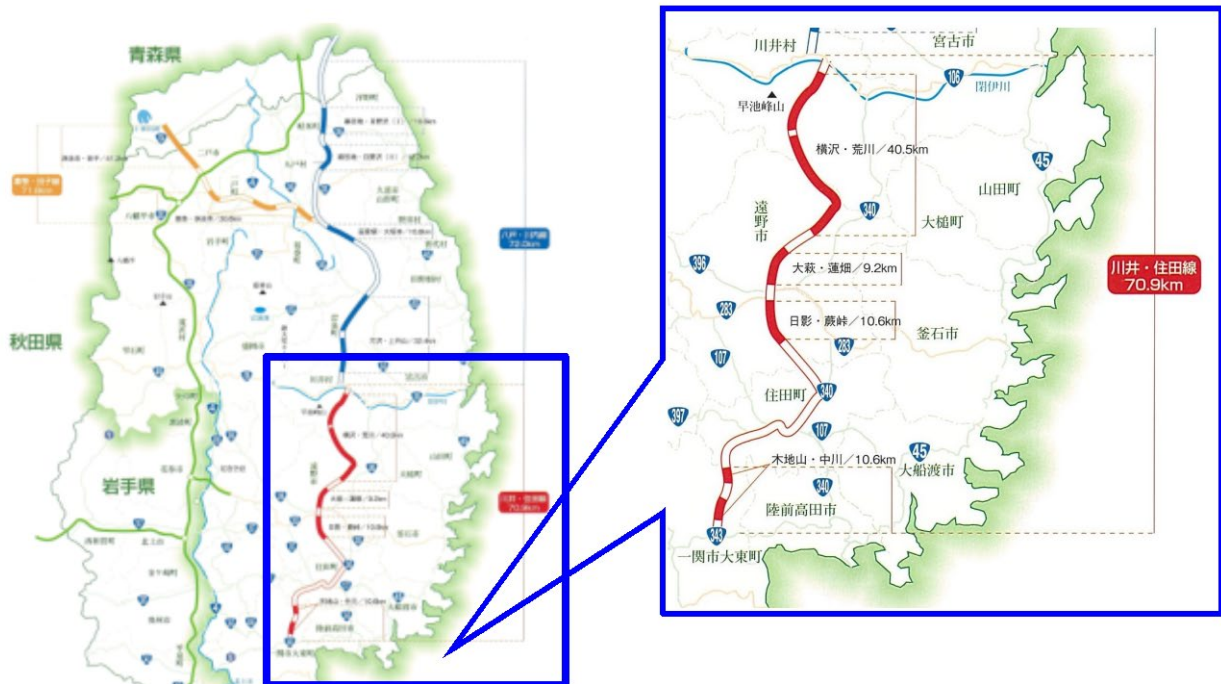
平成21年11月25日、幹線林道『川井・住田線』が全線開通しました。

昭和51年度の事業着工以来、「緑資源幹線林道事業」として旧緑資源機構が整備を進め、平成20年度からは、岩手県が「山のみち地域づくり交付金事業」として実施し、約34年の歳月をかけて全区間L=70.9km（公道利用区間を含めるとL=127.9km）が開通しました。

当日は、現地で開通式典が行われ、県や沿線市町村、用地提供者、施工業者など、多くの方々が幹線林道『川井・住田線』の開通を祝いました。

## 【事業の概要】

幹線林道『川井・住田線』は、川井村鈴久名の国道106号を起点とし、川井村から遠野市を通過し、一関市大東町大原の国道343号に接続する全幅員7.0mの2車線道路です。



延長	70.9km		
幅員	7.0m		
事業費	19,607百万円		
主要構造物	トンネル	1箇所	150.2m
	橋梁	9箇所	217.9m

区間名	町村名	事業期間
横沢・荒川	川井村 遠野市	昭和51年度～平成21年度
大萩・蓬畑	遠野市	昭和61年度～平成5年度
日影・蕨峠	遠野市	平成6年度～平成12年度
木地山・中川	一関市	昭和55年度～平成8年度

## 【事業目的・効果】

豊富な森林地帯において、奥地森林まで健全な手入れを行うことを目的に整備され、

**林業の生産性の向上や間伐等の森林整備の促進**  
**農林畜産物の流通の効率化や地域間交流の促進**

などの多様な効果が期待されます。

## 畜産業の利用(遠野市横沢・荒川区間)



【開通式】

開通式典は、平成21年11月25日の午前10時30分から、川井村鈴久名の林道トンネル『悠久のみち』前で行われました。

開通式典では、安全祈願祭の後、テープカットやくす玉開披のほか、記念碑の除幕が行われ、主催者を代表して緑資源幹線林道川井・住田線開設促進協議会会長の本田敏秋遠野市長が「完成した林道の利活用を通して、地域間の交流と連携を推進し、地域振興へつなげていきたい」とあいさつを述べました。また、達増知事（代読 佐藤県土整備部長）が、「本林道が末永く地域に愛され、その機能が十分に発揮されることを祈念します」と祝辞を述べました。



安全祈願祭



知事祝辞(代読 佐藤県土整備部長)



テープカット



記念碑「希望を拓く道 心をつなぐ路」

【記念碑の言葉に込められた想い】

これからこの道を通る人たちにも、ずっとずっと昔このあたりを歩いていた人たちにも、昔のそして今のタイムグラの人たちにも、みんなに受け容れてもらえるような言葉として、みんなの心と心をつないでいけるような心と心が響きあうような、そんな道になることを願いながら

〈希望を拓く道 心をつなぐ路〉

としました。(揮毫者：内館勝則川井村長)

川井・住田線完成状況(川井村横沢・荒川区間)

